



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 251

2017/10/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

GREEN COLUMN

01. ヒグマは賢い！？

02. 玦^{けつじょう}状耳飾り



今月の一枚



「自然観察の総合格闘技」

表紙写真・文／町田善康

地図を片手に、山の中を歩き回り、時には背丈を越えるようなササやぶを漕ぎ、直径1mを越える倒木を乗り越えて、もちろんヒグマにも注意して…。そして、見つけた立派なキノコ。憧れのマイタケです。

キノコを探すためには、森を知り、木を知らなければなりません。その上、森の中を歩きまわる体力も必要です。そう、キノコ探しは、自然観察の総合格闘技。持っている知識をフル活用して楽しむものです。

Event. 今月のイベント

特別展「美幌なつかしの^{まなびや}学び舎」 ～10月22日（日）

ロビー展「野崎政長と戸長役場」 10月4日（水）～31日（水）

美幌博物館でお宝をさがせ！ ～10月1日（日）

博物館フォーラム「写真でふりかえる子どもの学び・子どもの遊び」 10月7日（土）

美幌博物館開館 30 周年記念イベント 10月9日（月）

博物館講座（歴史編）「歩いて発見！ぶら博物館」 10月14日（土）

プチ工房「ひもでつくるコースター」 10月18日（水）, 20日（金）

無料開館 10月9日（月）～10月15日（日）

Information. 参加者募集

美幌博物館でお宝をさがせ！

●10/1（日）9:30-17:00 受付で用紙を受け取り参加。ナゾがとけたら終了。●美幌博物館 展示室 ●展示室観覧料（高校生以下・町内在住 65 才以上は無料）●城坂結実（美幌博物館）●申込み不要。

美幌博物館開館 30 周年記念イベント

●10/9（日）【せんべい焼き体験】10:00-12:00【黒曜石ナイフ体験】12:00-13:00（11:30 より整理券配布）【モノ作り体験】10:00-13:00【コーヒーサービス】10:00-17:00 ●美幌博物館 ●無料 ●美幌博物館スタッフ ●申込み不要。

プチ工房 「ひもでつくるコースター」

●10/18（水）, 20（金）10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（200 円）●八重柏誠（美幌博物館）●申込み不要。小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館フォーラム「写真でふりかえる子どもの学び・子どもの遊び」

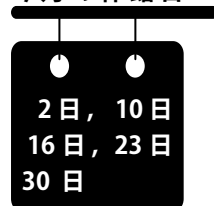
【講演会】●10/7（土）10:00-12:00 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●大和田努氏（帯広百年記念館）●申込み不要。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座（歴史編）「歩いて発見！ぶら博物館」

【体験会】●10/14（土）9:30-11:30 ●美幌町市街地（集合解散は美幌博物館）●保険料（100 円）, 野外で活動できる服装, 飲み物, 雨天時は雨具と長靴 ●八重柏誠（美幌博物館）●美幌博物館へ電話申込み（10/1-10/11）。キャンセルは 10/11 まで。それ以降は保険料 100 円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要, 定員 25 名で締切。

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

今月の休館日



ヒグマは 賢い！？

写真・文／町田善康



昨日、何を食べましたか？思い出せない人もいるぐらい、私たち人間は、当たり前日々の食事をとっています。しかし、野生動物たちは、自分の食べ物を手に入れることに大変苦労をしています。もし、自分の好物を見つけても、仲間と争い、戦いに勝ったものだけが、ごちそうにありつけるのです。

さて、秋も深まり、野山に実りの季節が訪れると、たくさんの動物が集まる場所があります。ドングリが実るミズナラの森は、タヌキやシカ、リスの仲間など様々な動物たちで賑わいます。もちろん、その中にはヒグマもあり、互いに出会くわさないよう注意をしながら、脂肪分たっぷりのドングリを食べるのです。

こうした野生動物たちの営みは、最近、町内のあちらこちらの森の中に仕掛けたセンサーカメラ（動物が前を通

ると自動的に写真が撮影されるカメラ）によって、明らかになってきました。1年を通して同じ場所に設置しているカメラでは、どんな動物が、どの季節に現れるのかを調べています。中でも、ヒグマが非常に面白い行動をしていたので紹介します。

秋になると、ミズナラの森には昼夜を問わず、ドングリを求めてヒグマが現れます。2頭の子どもを連れた母グマや、大きなオスグマなど、いろんなヒグマが訪れます。一方、春や夏など実りの無い季節には、この森にヒグマが現れることはありませんでした。

もっと詳しく調べてみないとわかりませんが、彼らは餌がある場所を覚え、なるべく少ない労力で餌をとるようにしているのかもしれませんが、効率を重視した野生動物のしたたかな暮らしに、ただただ驚くばかりです。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

けつじょう

块状

耳飾り

写真・文／八重柏誠



想像図

先日、町内在住の方から「家の荷物を整理していたら祖父が集めた土器や石器が大量に出てきたので、受け入れてくれないだろうか」と相談を受けました。資料は多種多様で、土器は縄文時代早期～擦文時代のもの、石器は石鏃^{せきぞく}や石槍などの定型的なものの他に、黒曜石のカケラやレキなども含まれていました。

受け入れた資料は、はじめに水で洗い観察しやすくします。その後、遺物番号を付け、資料の分類を行ってから、収蔵台帳を作成します。

資料を整理していると、黒曜石ではない素材を使った石器が出てきました。見た瞬間、穴の開けられた石斧^{せきふ}の破片かと思いましたが、よく観察してみると、どうも違う。扁平^{へんぺい}に加工された蛇紋岩と思われる石には、穴が開けられており、その穴に向かって切れ込みも加えられているようです。扁平な

石器に穴と切れ込み…これは块状耳飾りに違いない！と小躍りしてしまいました。

块状耳飾りは、これまで美幌町の緊急発掘調査では、出土していないものです。町内から出土したのであれば美幌町で初めての資料になるのですが、残念なことに採集地は不明でした。とは言え、貴重な資料には違いありません。

今回見つかったものは、全体の4分の1程度しか残っていなかったもので、想像図を描いてみました。耳たぶに穴をあけ、石器の切れ目を穴に通し、イヤリングのように使ったと考えられています。当時、この石器を身につけていたのはどのような人だったのでしょ
うか。オシャレのためか、祭祀儀礼^{さいしぎれい}のための装飾品なのか、気になるところです。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



先日、娘の幼稚園の日曜参観に出席してきました。
娘は教室に入ると、身支度から道具の出し入れ、
日直までこなしていました。まだ自分では、何も
できない子だと思っていたので、驚いてしまいま
した。子どもの成長は早いものですね。(八重柏)